

登録コード	L1532900	開講年度	2026				
担当教員	今井 章			副担当			
授業科目	司法・犯罪心理学						
英文授業名	Forensic and Criminal Psychology						
授業タイトル	司法・犯罪心理学						
単位数	1	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	集中・不定期
講義室	人文第1講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身につくようになる。		
	【2023年度以降対象】専門の学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	専門の学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	教科書を用いて、受講生がそれぞれ担当を決めてレポーターとなり発表を行い、それについて受講生が討論をするという演習形式で授業を進めていく。まず、犯罪の原因論としての生物学的視点、心理学的視点、社会学的視点について学ぶ。次に、犯罪の種別毎に暴力犯罪、性犯罪、ドメスティック・バイオレンス、ストーキング、虐待、窃盗・強盗・放火などについて学ぶ。次に、犯罪捜査と心理学の関わりについて考察する。最後に、司法と裁判、防犯、矯正と更生保護について考察する。これらの考察をふまえて、犯罪と司法における心理学の意義と役割について理解を深める。						
授業計画	第1週 ガイダンスと半期の発表予定決定 第2週 応用としての司法・犯罪心理学 第3週 犯罪の生物学的、心理学的、社会学的原因論 第4週 暴力犯罪、性犯罪 第5週 ドメスティック・バイオレンス、ストーキング 第6週 虐待、窃盗・強盗・放火、犯罪捜査 第7週 司法・裁判、防犯、矯正と更生保護 第8週 まとめと授業アンケート実施 定期試験なし なお、状況に応じて予告した内容を変更することがある。						
成績評価の方法	レポーターとしての発表と授業時の討論への参加を5割、期末に課されるレポートの成績を5割として総合的に評価する。						
成績評価の基準	授業におけるレポーターとしての発表と討論への参加、および期末レポートが、卓越して的確に問題を捉えて整理できている場合は『卓越している』、優れて的確に問題を捉えて整理できている場合は『かなり上にある』、やや優れて的確に問題を捉えて整理できている場合は『やや上にある』、的確に問題を捉えて整理できている場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	指定された教科書を毎回、予習してくることが事前学習（1時間）となる。授業での議論に基づき、各自がその日の内容をまとめていくことを事後学習（1時間）とする。						
履修上の注意	心理学概論Ⅰ・Ⅱ、社会心理学概論Ⅰ・Ⅱ、またはそれに相当する授業科目を履修済であることを前提にした演習として進める。指定の教科書は第1回目から使用するので、それまでに各自で用意する。 なお、この科目は公認心理師対応科目であり、演習として授業を展開するため、受講生が多い場合には、心理学・社会心理学コースの学生のみを受講制限する場合がある。授業は隔週で行うが、初回の授業時に半期の予定を全て決定するので、履修を希望する学生は必ず出席すること。						
質問、相談への対応	木曜日の12:30～13:30のオフィスアワーにて対応する。事前にメール(imaiakr@shinshu-u.ac.jp)にて予約をする。						
教科書	越智啓太（2020）. 司法犯罪心理学 サイエンス社 2530円(税込)						
参考書	授業時に適宜、紹介していく。						